

- ◆ 企画名 KUブリッジ～日本語カフェ～  
日 程 2021年9月18日  
場 所 Zoom  
参加者数 11名(ピア・サポーター3名、一般学生5名、留学生3名)  
目 的

留学生が気軽に日本語の会話練習をすることができる場を提供する。また、留学生と日本人学生の交流の場を定期的に設けることで、国際交流の促進を図ると共に留学生を日常的にサポートできる環境をつくる。

#### 内 容

19:45 Zoomを開始しスタッフが集合、スケジュール確認  
19:55 ブレイクアウトルーム機能を使用し複数の部屋を作成、スタッフはそれぞれ担当の部屋に移動  
20:00 参加者に向けてZoomを開始、参加者はブレイクアウトルームへ入室し交流しその後も自由に部屋を移動しながら交流  
20:55 全てのブレイクアウトルームを閉室しイベント終了、参加者は解散  
21:00 スタッフはフィードバックを行い、解散

#### 効 果

- ・コロナウイルスの感染が拡大し日本人学生との交流が少なくなっている中で、オンラインではあるが留学生に日本人学生と交流する機会を作れた。これによって、留学生が本来行えるはずであった日本語学習の手助けとなった。
- ・テーマを決めたブレイクアウトルームを作ることで、互いの文化の違いなどについて深く知るきっかけを作れた。その結果、今後旅行などの様々な場面で活用できる知識を得た。
- ・留学生と日本人学生の交流の場を作るという当初の目的を達成することができた。これによりコロナ禍でのコミュニケーション不足といった問題を解消することにつながった。

#### 改 善 点

- ・日本語カフェは20時から21時までとしており、20時55分になったらチャットにアンケートへの回答を依頼し、記入を終えた人からZoomを退出してもらう形を取っている。しかし、今回は話が盛り上がったため、チャットを送ってもなかなか切り上げてもらえなかった。  
→開始時に20時55分になったらチャットを送信することをあらかじめ伝えておくことで、気づいてもらいやすくするほか、チャットを送っても退出がない場合は部屋にいるスタッフが直接退出を促すようにする。
- ・日本語カフェでは、開始時にブレイクアウトルームへの移動や、名前の表記の変更依頼、チャットに氏名と学籍番号を打ってもらうようお願いしている。今回は、それらのことに気を取られ、自己紹介の時間を設けることができなかった。  
→今後は、開始時間の20時になった時点で、その場にいる人全員に自己紹介をしてもらい、終わった人からチャットに記入をしてもらい、ルームの移動を行ってもらうようにする。

#### 感 想

今回初めてこの日本語カフェの企画を担当し、司会も務めさせていただいたが、おおむねスムーズに進行することができたのではないかと感じた。企画開始前からブレイクアウトルームを準備し、進行の流れを事前に確認するなど、参加者が戸惑わないように準備し

た効果が発揮できた。また、今回は留学生と日本人学生の割合もちょうどよく、良い異文化コミュニケーションの機会を設けることができた。しかし、企画終了時になかなか退出してもらえないなどの反省点もあったため、事前準備を強化し、改善することで、参加者にとってより良い企画を作っていきたい。